

サステナビリティへの考え方

大栄環境グループの事業は、なによりもまず、お客さまと地域の皆さまの「信頼」がなくては成り立たないものです。1979年の創業から、持続可能な循環型社会の実現をひたむきに目指してきた私たちにとって、永続的な「信頼」を構築することこそが、サステナブルな未来へのスタートラインだと考えます。

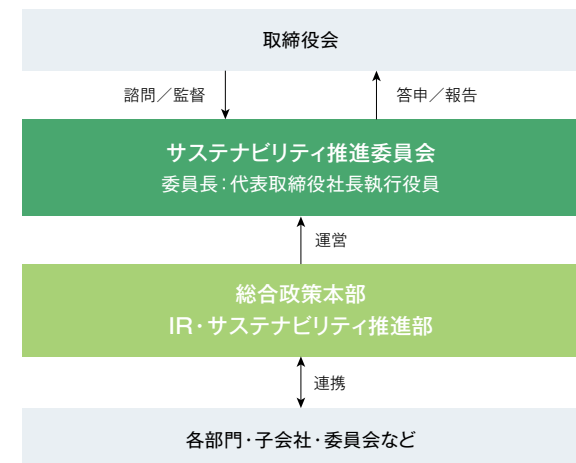
サステナビリティ基本方針

「未来は、信頼から生まれる。」

サステナビリティ推進体制

大栄環境グループは、気候変動や人的資本をはじめとするサステナビリティ課題に対応するため、代表取締役社長執行役員を委員長とするサステナビリティ推進委員会を設置しています。当委員会において、サステナビリティに関する各種方針やリスク・機会の評価などについて年2回以上の頻度で議論し、その結果を取締役に答申しています。取締役会は、当委員会からの答申・報告に基づき重要事項の決定および監督を行っています。

サステナビリティ推進体制



サステナビリティ推進委員会の活動

2024年3月期は、サステナビリティ推進委員会を2回開催し、下記3項目を主な重要議題として、議論を行いました。

- 1 TCFDに基づく情報開示の更新検討
- 2 中期経営計画とサステナビリティ経営との整合性の確認
- 3 人的資本に関する情報開示への取り組み

議題に応じて、オブザーバーとして委員以外の社外取締役や部門長も本委員会に参加し、サステナビリティに関する取り組みを情報共有しました。

議題	内容
1 TCFDに基づく情報開示の更新検討	これまでは対象外であったグループ子会社や事業セグメントに対してリスク・機会の特定や、シナリオ分析による評価を進め、その進捗状況を報告しました。
2 中期経営計画とサステナビリティ経営との整合性の確認	サステナビリティに関する外部環境の動向を踏まえ、現行の中期経営計画におけるESG施策との整合性を確認しました。
3 人的資本に関する情報開示への取り組み	女性管理職や男性の育児休業などに関する指標と目標の進捗状況を確認し、これまでの取り組みと今後の対応策について議論しました。